

豊かな心と生きる力をもち、自ら考え、やりぬく小津の子

小津小学校学校だより

令和6年

2月6日



# おづっこ



おもいを伝え合う子 つづける子 つよくたくましい子 ころあたたかな子

## 春はそこまで来ています！

1月20日に「**大寒(だいかん)**」を迎えました。二十四節気の大寒は、「1年で最も寒さが厳しい時期」という意味です。2024年は1月20日から2月3日の節分までの期間です。寒さが続く中、疲れもたまってくる頃です。今年は、インフルエンザだけでなく新型コロナウイルス感染症が流行しています。手洗い、うがい等予防をしっかりと、体調管理に心掛けます。そして、大寒の最終日は、豆まきでおなじみの「**節分(せつぶん)**」です。節分の翌日は「**立春(りっしゅん)**」で、暦の上では春になります。3月には66人の6年生が小津小学校から巣立ちます。6年生は、心身ともに中学生になる準備が整い、落ち着いた学校生活を送っています。また4月には、57人の新1年生が入学してくる予定です。新1年生から見ると、憧れの小津小学校です。どんな楽しいことが待っているのだろうとわくわくする反面、新しい環境にうまくなじめるかなあと不安を抱えている園児もいるでしょう。新1年生たちが安心して登校できるように、頼もしいお兄さんお姉さんとしてやさしく下級生に接するおづっこたちと心を一つに合せて楽しい小津小学校にしていきたいと思います。



雪の日も元気に外遊び



新1年生入学説明会

2月1日に新1年生の子どもたちと保護者のみなさまを対象に「入学説明会」を開催しました。そこで、保護者のみなさまに「小津小の強み」についてのお話をしましたので紹介します。小津小の強みの一つ目は、「おづっこの良さ」です。力を抜いたり、ごまかしたりせず、やるべきことに向かい合うことができます。「やりたい」を実現させるためにどうすればよいかを子ども自身が考える時間を大切にしています。二つ目は、他学年の子どもと仲良くなる機会が多いことです。低学年の子は高学年の子と一緒に活動する中で、高学年の子にあこがれを持ち、「大きくなったらこんなお兄さんお姉さんになりたい」と思います。高学年の子は、低学年に良いところを見せようと頑張り、低学年が困っていれば自然と助ける優しさが身につきます。三つ目は、地域とのつながりがとても強いということです。登下校の見守りや、地域学習の際の協力をお願いすれば快く引き受けてくださいます。また、小津学区教育後援会は、本校教育に必要なサポートを物心両面でしてくださっています。三つの「強み」を最大限に活かし、教育活動をすすめていきます。

春はもうすぐそこまで来ています。春を見据えて、前向きにあと2ヶ月を過ごしましょう。

